

効果あり、天井までのすきま家具

うちは豆腐店です。朝、おばあさんたちが『豆腐すり』が終わるころに、ドーンと揺れて、テレビが6センチぐらいポンと持ち上がりました。



一瞬「はてな？」という感じだったんですけど、その後にドドドって来て、上から大きな物が落ちてきたので、「あ、だめだ。普通の地震じゃない」と思いました。

で、そばにいた孫たちを抱えて立とうとしたんですけども、もう立てないんですよ。二人を引っ張るようにして、テーブルの向こう側まで行くのがやっとでした。

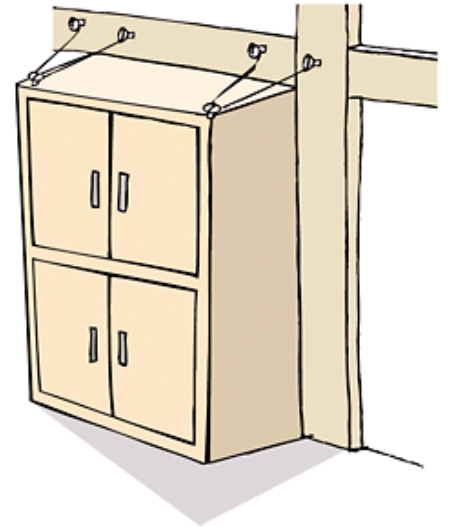
家の中は、茶ダンスは倒れ、テレビは倒れ、めちゃくちゃでしたが、上に額縁がいっぱい飾ってあったのに、ぶら下がった状態で下まで落ちなかったのは幸いでした。

今回の地震を経験して、上に物があるというのは危ないってわかったんですけども、「でも、置く場所ないし」って、いまだに高いところに物があるんです。

ただひとつ、地震当時、天井とのすき間にぴったり入る大きさの箱に物を入れてタンスの上に置いていたら、そこだけはあまり動きませんでした。災害に備えるというテーマのテレビ番組を見てやっていたものですが、たしかに効果はありましたね。

「倒れたらあぶないな」と家具固定 ～前の地震が教訓に～

地震があったときには、私とおばあさんは台所で朝ご飯の用意をしていました。主人と娘は座敷のほうで、お布団でまだ寝ていた状態だったんですけれども、急に、ガ、ガ、ガーッと来たものですから、私は柱にしがみついて、お父さんと娘の名前を叫び続けていただけでした。動こうにも動けなかったのです。



母のほうは、とっさにやかんを火にかけていたので、火をとめなきゃと思ったらしくて、流しのほうに行ったとたん飛ばされて、台所のレンジのところに腰をぶつけていたんです。「大丈夫？」って聞いたら、「大丈夫って言ったけれど起きあがれないような感じでした。食器戸棚とかがいっぱいあるんだけど、5月に大きい地震があったときに、これが倒れたら危ないなと思って、ヒートン（ネジ）を戸棚につけて、壁の柱みたいになっているところに、全部たこ糸でくっつけていたんです。たったそれだけなんですけれども、倒れなくてすみしました。やっていてほんとうに良かったなと思います。